

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会(島根県益田市)

○島根県西部に位置する益田市は、中国山地の山々と日本海に挟まれ、山と海を結ぶ清流・高津川に恵まれた自然豊かな町であり、「ワサビ」や「鮎」など綺麗な水が育む食材が名産品となっている。

○日本遺産にも認定され、中世の歴史に触れることも出来る。戦国時代には、豊富な食材を用いた饗応料理を戦国武将・毛利元就にふるまい、和睦に成功している記述が残されており、当時の料理を再現した『中世の食』も体験できる。

【地域の食】



【うずめ飯】

山葵をご飯でうずめ、出汁でいただく郷土料理。(山葵は高価だったため、客に気を遣わせないようにご飯で隠したおもてなし料理)



【鮎雑煮】

お正月に食べられている郷土色豊かな雑煮。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R3	R7
外国人旅行者 宿泊人数	609人	930人

【周遊ルート】

山の恵みを味わう



- ・森に囲まれたわさび田
- ・地元の方に教わるうずめ飯づくり
- ・中国山地の峡谷美「匹見峡」

川の恵みを味わう



- ・地元の方に教わる鮎雑煮づくり
- ・水質日本一の高津川での鮎釣り
- ・透明度の高い水を体感できるカヤック

益田の歴史文化を味わう



- ・雪舟が作った庭園をみながら『中世の食』を味わう体験
- ・文化財のお寺で座禅体験
- ・地元で人気の『真砂豆腐』づくり体験

公益社団法人津山市観光協会(岡山県津山市)

- 古くから牛馬の市が開かれ、全国でもまれな養生食いの本場、神戸居留外国人への牛肉供給拠点、全国ブランド牛産地への子牛出荷地として貢献してきた歴史があり、独特の牛肉食文化が郷土料理として地域の生活に根付いています。新たな地域ブランド「つやま和牛」育成により、農業所得の向上を図ります。
- 日本さくら名所100選「津山城(鶴山公園)」、大名庭園、古いまちなみ(市内2か所の重伝建地区)等の豊富な歴史的観光資源や、「作州絣織り体験」「寺町のお坊さんガイドツアー」「モビルスーツ」「鉄道記念物」「農業体験プログラム」等のコンテンツ整備により、誘客数・滞在時間・観光消費額の拡大を図ります。

【地域の食】



そずり鍋(骨そばの肉)



牛肉の煮ごり(スジ肉)



よめなかせ(心臓大動脈)



牛肉の干し肉(モモ肉)



津山ホルモンうどん



つやま和牛

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R3	R7
外国人宿泊者数(単位:千人)	0.2	3.0
つやま和牛出荷頭数(単位:頭数)	44	120

【周遊ルート】

歴史のかおりとユニークな牛肉文化に出会えるまち つやま



作州絣織り体験



衆楽園(大名庭園)



農業体験 (牧場生活)



津山ホルモンうどん食べ歩きマップ



城西地区(重伝建)



春の津山城／鶴山公園



城東地区(重伝建)



農業体験 (いちご狩り)



モビルスーツ



寺町のお坊さんガイドツアー



津山まなびの鉄道館(鉄道記念物)



農業体験 (トラクター収穫)

LOG(広島県尾道市)

- 商港都として栄えてきた歴史の中で育まれた、日本遺産「北前船」ゆかりの造酢をはじめ、「村上海賊」ゆかりの柑橘や魚食文化等、豊かな食や食文化を今に伝えています。
- LOGでは、日本遺産「箱庭的都市」を臨む景観の中で、素材の良さを引き出す料理を味わい、手のぬくもりを感じる空間で、このまちに暮らすように滞在することができます。
- 歴史的景観のまち歩きや、柑橘と潮風薫るナショナルサイクルルート「しまなみ海道」のサイクリングなど、インバウンドにも対応したアクティビティが楽しめます。

【地域の食】



高品質な柑橘



受け継がれる
「酢」の食文化
「いちじく酢」



季節の地魚

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	H30	H34
外国人観光客数 1人当たり	30万人	38万人
観光消費額	4,000円	4,800円

【周遊ルート】日本遺産「箱庭的都市」

LOGを拠点に、地域の食を味わい、歴史と情緒あふれる「箱庭的都市」の景観を臨めば、このまちに暮らすような滞在ができます。



【周遊ルート】しまなみ海道サイクリング

サイクリストの拠点ONOMICHI U2を出発し、空中散歩のような橋上ルートや柑橘畑を縫うように走る専用道は、国内外で高い評価を受けています。



音戸町魅力化推進協議会(広島県呉市音戸地域)

- 美しい瀬戸内海の西側、広島県の南部の倉橋島にある音戸。穏やかな内海に面し、豊かな自然、温暖な気候、島の恵みの美味しい牡蠣、そして穏やかに暮らし外からのひとを温かく受け入れるひとたちがいる地域です。
- 東京から空路で90分、その後陸路で70分、瀬戸内海有数の美しい自然のある音戸にはゆったりとした時間が流れ、牡蠣や瀬戸内の魚をネタに寿司を握る体験、空と海に溶ける島めぐりサイクリング、牡蠣を食べながらの牡蠣ロゲイニングなど、瀬戸内海をまるごと楽しめます。

【地域の食】



【牡蠣めし】

牡蠣生産者のまかない飯だった牡蠣と野菜の炊き込みご飯が郷土料理となっています。



【牡蠣佃煮】【牡蠣エスカパーチェ】

創作した佃煮やエスカパーチェは、進化した牡蠣の食のひとつで新しい味となっています。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R4	R8
外国人観光客数(人)	175	2275
観光消費額(円)	875,000	11,375,000
ロゲイニング参加者(人)	5	25

【周遊ルート】

瀬戸内海の豊かな自然や時間を楽しむ



- ・瀬戸内海の西側に位置する音戸
- ・瀬戸内海有数の息を呑む美しい景観
- ・平清盛が1日で開いたとされる「音戸の瀬戸」に架かる2本の橋
- ・静かにゆったりと流れる時間

瀬戸内海を五感で感じとる

- ・清浄海域の牡蠣筏で養殖される牡蠣
- ・感じる海の香り
聞こえる波の音
風の音、船の音
- ・桜が咲き誇る名刹梵長寺



瀬戸内海を独り占めできる体験をする



- ・牡蠣や瀬戸内の魚をネタに寿司を握る体験
- ・空と海に溶ける魅力的な島めぐりサイクリングの体験
- ・牡蠣を食べながらの牡蠣ロゲイニングの体験